

● 病院に行った方がいい？ ● 応急手当の方法は？
● 近くの救急病院はどこ？ ● 救急車を呼んだ方がいい？

こんなときは…

救急安心センターおおさか

急な病気やけが！

適切な救急病院を案内
病気・けがの緊急性の判断や
応急手当についてアドバイス

緊急時には救急車が出場

医師・看護師・相談員が
24時間365日対応

なやまず いまずぐ いりょうと きゅうきゅう

#7119

つながらない場合は…下記の番号へ
06-6582-7119

※健康相談や現在かかっている病気の治療方針、医薬品などのご相談はご遠慮ください。

緊急時は迷わず119番へ

大阪市消防局

1. 事故発生時の対応

1-1. 施設別の事故対応 ⇒ 次ページの図解を参照のこと

1-2. 緊急時の対応

- (1) 負傷の状態が重篤で、生命の危機にかかわるような緊急時には、第一発見者が携帯電話等を利用して、直ちに傷病者の近くから消防署に通報し救急車を要請し指示に従ってください。
- (2) 頸部を負傷した場合や、頭部を強く打って意識がない場合は、できるだけ負傷者の体を動かさないようにして、速やかに救急車を要請するよう指導してください。
- (3) 救急車の出動を要請した場合は救急車誘導のため、防災センターに連絡してください。
- (4) 軽度の負傷で保健室等へ搬送する場合は、できるだけ複数で行うよう指導してください。

1-3. 学生生活支援センターへの報告

学生生活支援センターが開室している場合は、家族に連絡する前に学生生活支援センターまで事故の内容を報告してください。

事故の内容により、適切と思われる連絡方法等を学生生活支援センターが指示します。学生生活支援センターに連絡がつかない場合は、翌日以降できるだけ速やかに報告するようにしてください。

1-4. 保護者への連絡

保護者にはできるだけ速やかに事故の事実を報告し、負傷の程度や連絡窓口を伝達するとともにクラブまたは学生生活支援センターへの要望の有無を確認してください。救急車にて搬送する場合は、病院名等が分かり次第連絡すると伝えてください。

なお、家族に負傷の連絡をする場合は、必要以上に不安を与えないようにくれぐれも注意してください。